

再造林の低コスト化の進捗状況

森林整備課

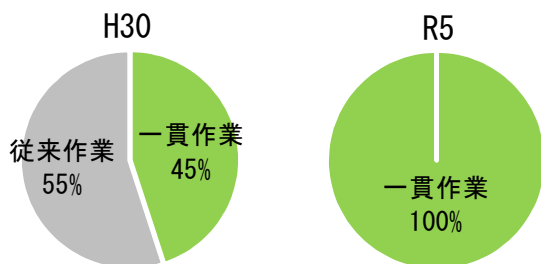
○令和5年度末の進捗状況

- (1) 県全体の再造林コストは平成30年度に比べ12%低減
- (2) 植林から伐採までの1サイクルの生産コストは平成30年度に比べ11.8%低減

○主な取り組み

- (1) 一貫作業の実施割合・・・100%
 - 一貫作業による再造林等の低コスト化等を推進するための「伐採者と造林者の連携による伐採と再造林等のガイドライン」に基づく協定締結 R5：3件（累計55件）

■一貫作業の実施割合



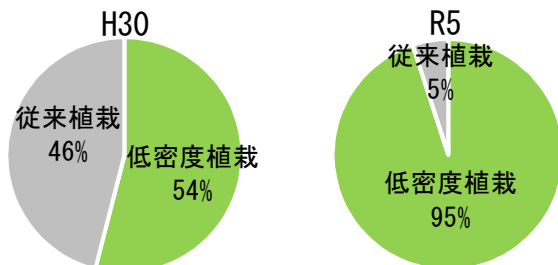
■伐採者と造林者による現場打合せ



- (2) 低密度植栽の実施割合・・・95%

- 再造林の低コスト化に向け低密度植栽を促すため、低密度植栽が低調な地区で、造林者と森林所有者の打合せに同席し森林所有者への働きかけを実施

■低密度植栽の実施割合



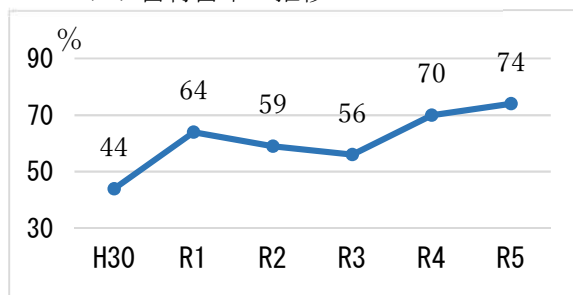
■低密度植栽モデル林の設置



- (3) コンテナ苗・・・得苗率74%

- コンテナ苗の生産本数 約63万本
- 生産規模拡大等に意欲的な生産者8者に対して、コンテナ苗育苗に必要な油圧式駆動コンテナ苗抜取機等生産施設7台、灌水施設2台等の導入を支援
- 苗木生産者32者が参画する「しまねコンテナ苗生産振興会」の育苗技術講習会を開催

■コンテナ苗得苗率の推移



■コンテナ苗生産振興会育苗技術講習会

